

## はじめに

本県では、「地域教育力日本一」の実現をめざし、平成27年度から、コミュニティ・スクールが核となり「地域協育ネット」の仕組みを生かして社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」を推進してまいりました。

特に、平成29年度は、「学校課題の解決」「ふるさとを愛する心の育成」「家庭教育支援の充実」の3点を重点取組事項に掲げ、市町教育委員会や学校と連携して「やまぐち型地域連携教育」の更なる充実を図ってきたところです。

こうした中、本県の最重要課題である人口減少の克服に向けた地方創生の取組が本格化しており、県教育委員会としては、本県の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域力の強化も図っていくことが重要であると考えています。

このため、本県では、既に全ての公立小・中学校がコミュニティ・スクールとなっていますが、今後は県内全ての県立高校や特別支援学校にもコミュニティ・スクールを導入し、学校・学科等の特色や専門性を生かして、地域の活性化に直接貢献する高校ならではの取組の充実や共生社会の実現などにつなげてまいりたいと考えています。

学校と家庭・地域が目標や課題を共有し、相互が連携・協働することにより、子どもたちの豊かな学びを実現するとともに、学校を核とした人づくり・地域づくりの好循環の創出につなげていく。これこそが「やまぐち型地域連携教育」のめざすところであり、その中心となるコミュニティ・スクールや「地域協育ネット」の取組が、今後、県内各地域で一層充実していくことを期待しているところです。

この事例集は、各市町における「やまぐち型地域連携教育」の推進構想をはじめとし、市町立小・中学校や県立学校におけるコミュニティ・スクールの取組、「地域協育ネット」等の地域ぐるみの教育活動を中心にまとめたものです。今後の取組の更なる充実にご活用いただければ幸いです。

おわりに、本事業の推進に御尽力いただいております地域の支援者の皆様をはじめ、関係者各位に心から感謝申し上げます。

平成30年3月

山口県教育委員会

教育長 浅原 司